

大規模災害に備えて知っておこう!!

災害時の下水道の使い方



近年、地震や台風、集中豪雨等の災害が頻繁に発生しています。阪神・淡路大震災においても、私たちの暮らしに大きな影響を与えました。災害時に下水道が適切に使用できるよう、利用方法についてお知らせいたします。

三木市 上下水道部 下水道課 (☎82-2010)

断水時の水洗トイレの使用について

阪神・淡路大震災における本市の水道断水は10,070戸でした。災害によって水道が断水した場合、水道管と同様に下水道管や下水処理場も破損・被災していることが考えられます。

このような場合は、ご自宅の下水道管で水が流れるか確認してください。宅内や敷地内で水が溢れ出すことがなければ使用可能です。

ただし、ご自宅の下水道が使用できる場合でも、道路で汚水が溢れていたら、汚水を流すことを控えていただきますようお願いいたします。

(集合住宅の場合では、階下のお宅で汚水が溢れてしまう恐れがありますので、階下のお宅への影響にもご配慮をお願いします。)

だいへんだ！
汚水があふれている！



おぼえておいてね！

災害時に使えるトイレの紹介

災害時に使える「マンホールトイレ」についてご紹介します。「マンホールトイレ」とは下水道管につながっているマンホールの上に簡易な便座や囲いを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものです。

三木市も導入しており災害時には各避難所で活躍が期待されています。



マンホールトイレの設置例



マンホールトイレ用マンホール

こんなマンホールもあるんだよ！

ご自宅の水洗トイレが使用できない場合に備えて

大規模災害に備え、ご自宅での食料や飲料水の備蓄と併せて災害用トイレ(使い捨てトイレ)の備蓄にもご協力をお願いいたします。

また、災害用トイレの処分につきましては、可燃ごみとして処分できますが、他のごみとは別に出してください。

※付属の袋の口を固く結んでダンボールなどの箱にまとめて入れ、それを可燃ごみ袋に入れて災害用トイレごみと、わかるようにしていただきますようお願いいたします。

7日間分の備蓄量目安

(4人家族の場合)

140個 … 20個/日 × 7日分

※平均的なトイレ使用回数 5回/日・人

●ホームセンターやスーパー等で購入できます。

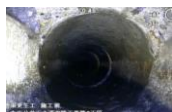


出典：避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン

トイレの備えも必要なんだね！

三木市における下水道事業の災害対策

災害にむけた取組!!



下水道管の耐震化



下水処理場の浸水対策



災害想定訓練



災害の備え、老朽化施設の更新のために、設備投資を増やします

同時に、更新費用の増加に対応するため、経営改善も進めていきます

重要

下水道管のつまりに「受付専用ダイヤル」を常設しました!

公共下水道、農業集落排水地域のご家庭で排水管が詰まったら、受付専用ダイヤル(☎86-2074)をご利用ください。

ただし、家庭宅内の下水道管でつまりが生じた場合は、個人負担が発生します。

